

平成29年度 第7回  
栃木西部地域会議会議録

平成29年10月17日(火)  
栃木市皆川公民館大研修室

栃木西部地域まちづくりセンター

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	平成29年度第7回 栃木西部地域会議
開催日時	平成29年10月17日(火) 19時 開会 20時14分 閉会
開催場所	皆川公民館大研修室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局 会長	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>事務局に対し、本日の出席委員数を求めます。</p> <p>委員総数は16名です。13名の出席をいただいております。</p> <p>過半数以上の委員の出席であるので本日の会議は成立しております。</p> <p>では、議事に入らせていただきます。</p> <p>(1) 地域予算提案制度取扱事業について</p> <p>地域予算提案制度取扱事業について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>〈説明〉</p> <p>前回に続きまちづくり塾で取り上げる地域の課題を審議願いたい。少子化を取り上げるかと、4に関係する観光コースも課題として取り上げるかを今回の議題としたいことを説明。</p>
会長	<p>前は各委員からいろいろな意見が出た。少子高齢化以外にも地域活性化の話が出た。まち協の課題を解決する勉強もある。まちづくり塾は予算の3分の2以上を占める。意見を伺いまとめたい。西部地域全体でやるがメンバーをどうするか。少子化は共通の課題だが、まちづくりは別々。ボランティア中心で進めており、収益が少ないのが課題。補助を利用しては伸びない。収益のあるまちづくりを進めることは必要。</p>
委員	<p>儲ける地域活動の講演会を希望。吹上は地元特産のさしも草でうどんや染物などの特産品の開発を実働組織の補助金を使って進めているが2分の1助成のため収益が必要。地域活動で利益を上げる講座が良い。先進地は全国にある。安く来てもらって講義願いたい。あと吹上では自主防災組織を進めている。災害時に安否確認できることが効果的。先進地はある。地域の人に知ってもらい</p>

委員	<p>たい。携帯電話会社による安否確認をテーマに挙げたい。</p> <p>少子化でどうか。地域の特性がある。規制がある。分ける必要もある。地域の実情。合併、婚活などサブテーマを作りメインは少子化でどうか。一般的なまちづくりで他の地域の成功した具体的事例。西部の実情を加味してアイデア出るのか。テーマを2つに分けても良い。まちづくりは別々。西部として各地域から何名かを出して目標を作り開催してはどうか。</p>
会長 委員	<p>西部全体か、3地区に分けるのか。</p> <p>全体での実施が良い。市民会議委員として行政の外部評価に関わったが、情報共有化について、地域の特性や実情の分析、検討をし、まつりなどを通じてまちづくり意識を醸成願いたい。改善点はバスツアーで現地を確認して知るべき。満足度47.5%と低い。地域予算提案制度で制度の改善、市と委員との協議不足、現状を多くの人が学び知る必要がある。問題点を掘り下げればヒントが出る。地域全体で進めるべき。</p>
会長 委員	<p>全体で進めるか地域で分かれて進めるかについて、ほかに意見はあるか。</p> <p>皆川はまちづくり協議会で年1回講師を呼び、話を聞いている。信長に馬献上の話も聞いた。皆川は部会性で進めており、全体で行ったアンケート結果からも城を中心としたまちづくりを進めている。吹上城もあったが皆川は城跡の原形を保っており、城址まつりなど賑やかに進めている。もっと外の人にも知って欲しい。</p>
会長 委員 委員	<p>その他全体で何か。</p> <p>全体の話で課題とするべき。課題は絞る必要がある。</p> <p>まちづくり3箇所の意見があるが、吹上の染物によるまちおこしをもっと詳しく知りたい。</p>
委員	<p>さしも草は、千年前、小倉百人一首の51番藤原実方作の伊吹山は吹上の山をさすと思っている。よもぎの七つ葉で市の天然記念物をさしも草と言い、地域おこしの一つ。石鹼の試作やうどんは5年かけて売り物になった。昨年からさしも草の染物で協働まつりのユニフォームを揃える試みをしており、下野新聞の記事になった。今後染物チームを組織し方向性をメンバーで決めて来年度の販売を目指している。儲かる地域活動をしたい。</p>
会長	<p>全体でやるということで良いか。</p> <p>〈了解〉</p>
会長 委員	<p>少子化、まちづくりをテーマでどうするか。メンバーが先か。地域の特性を活かした勉強会はどうか。収益を考えることもどうか。</p> <p>少子高齢化は日本全国共通の課題。教育無償化など国会で審議中なので、まずは、儲かるまちづくりを聞きたい。ボランティアだと生活優先なのでそういう事例に詳しい人の話を聞きたい。</p>
会長 委員 会長 委員	<p>地域の特性を活かしたまちづくり賛同意見が出た。</p> <p>予定2回だが違うテーマか。</p> <p>別でもよいということ。</p> <p>少子化を取り上げたい。収益あるまちづくりもやりたい。まちづくりの成功事例を聞きたいし、少子化でも戻れるまちづくりの事例も聞きたい。</p>

委員	少子化対策は非常に難しいが、講演できる人がいれば聞きたい。壬生町は婚活で2・30組呼んだが婚活も良い。3地区でなく全体でやるべき。
委員	吹上のようなまちづくりを個人でもやりたい。少子化問題と2点で。
委員	3地区合同で最初やるべき。どれくらい集めるかは年代による。利益だと大人対象。リーダー研修なら若い人対象。
委員	3地区全体で幅広い年代が関心のあるテーマ。誰でもわかりやすいもの。儲かる良い。利益ばかりでなく少子化は難しいが移住する人いる。皆川、寺尾移住希望があり、それをうまくやっている地域のノウハウある人と話を聞きたい。
会長 事務局	少子化は難しい。テーマはものづくり、まちづくりでどうか。 少子化で廃校した学校をアートの里づくりの拠点づくりの話もある。少子化をどうまちづくりに活かせるかの話も聞ける。子どもを増やすのではなく、現実を受け止め、今後どうまちづくりをするかも考えて欲しい。防災はどうか。
会長 委員	災害時避難の話だが、皆川も自主防災組織を作ったが動けなかった。 安否確認を家族が携帯で確認できるシステムの話を知りたい。どこも食糧では困らないと思うので。何かあった時どうするか探さないで済むのはどうか。
会長	皆川では安否確認は災害連絡網があり組織化が来ているのでよろしいかと思う。 3地区全体でやる。地域ものづくり。少子化まちづくり。何かものをつくるテーマで進めたいと思う。 4のマップは寺尾で作ったA4の観光マップはあるが、皆川は何もないので何か欲しい。皆川、吹上、寺尾で何か作ったらと思う。如何か。 これも検討することで良いか。 〈異議なし〉
会長	具体的に4を進めるのは3の中で良いか。それ以外とするかだが一緒に良いか。 〈異議なし〉
会長	4の進め方でまちづくり協議会の意見を進めながらで良いか。 吹上はまち協以外にあるか。
委員	まちづくり協議会は必要。
委員	寺尾はまち協でなく出流観光協会が関係している。
会長	まち協以外も入れる方向で良いか。 〈異議なし〉
会長	4の審議にまち協が主体となって、それ以外のメンバーを加える方向で進めたい。 それでは、地域予算提案制度取扱事業について終わりにいたします。 他にご意見ご質問等ありませんか。 〈意見等なし〉 ないようですので、今後の進行は事務局にお返しいたします。

事務局	<p>4番、その他の事項に入らせていただきます。</p> <p>(1) 平成29年度第8回栃木西部地域会議について 平成29年11月21日(火)午後6時30分から、吹上公民館大交流室で開催。</p> <p>以上で本日の会議は全て終了いたします。</p> <p>——閉会——</p> <p>(会議終了時刻 午後8時14分)</p>
-----	--

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長	関口 茂一郎	副会長	酒巻 幸夫
副会長	飯塚 昌宏	委員	大阿久 妙子
委員	臼倉 由美子	委員	大橋 利隆
委員	大阿久 安弘	委員	癸生川 孔章
委員	大塚 正江	委員	鯉沼 政江
委員	鯉沼 恵子	委員	野原 保
委員	寺内 茂		

欠席委員

委員	飯塚 督樹	委員	小林 雄一
委員	縫村 庫子		

事務局

茂木 隆（栃木西部まちづくりセンター所長）  
福田 欽也（皆川公民館館長）  
青木 啓安（寺尾公民館館長）  
加藤 幸子（吹上公民館主査）

その他出席者

なし

## 別紙2 会議事項

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議 事
  - (1) 地域予算提案制度取扱事業について
- 6 その他
  - ・ 平成29年度第8回栃木西部地域会議について
- 7 閉 会

## 配付資料一覧

平成29年度第7回栃木西部地域会議会議次第  
地域会議から提出された地域予算事業計画書について（一覧表）  
平成30年度実施栃木市地域予算事業計画書  
平成29年度栃木市地域自治交流会講演会資料